

KOBE AWAY PRESS 仮

We aim to provide a pleasure of watching away game, dreaming the spectacle of away crowd covered in crimson red.

Free!!

#64

王者の船出号

2020.02.08 Kick Off

私達にはアウェイ戦のゴール裏をクリムゾンレッドで埋め尽くすという夢があります。一人でも多くのヴィッセル神戸サポーターにアウェイ観戦の楽しさを届けたい。KOBE AWAY PRESS (仮) はこうした思いから生まれた情報紙です。KOBE AWAY PRESS (仮) は関東サポーター有志により自主的に制作されています。



元日の歓喜も冷めないうちに、2020年シーズンが始まります。2020年最初の公式戦は、FUJI XREOX SUPER CUPです。

J1リーグ優勝チームと、天皇杯優勝チームが対決するこの試合。当然ですが、この試合に出場できるのはタイトルを勝ち得た者だけ。チャンピオンvsチャンピオンの特別な試合です。2019シーズンJ1リーグを制覇したのは横浜F・マリノス。2位FC東京との直接対決となった日産スタジアムでの最終節は、Jリーグ最多観客動員記録となる6万3854人と言うサポーターを集めました。

天皇杯優勝チームは、我がヴィッセル神戸。

新国立競技場で、古豪鹿島アントラーズとの決勝戦は、イニエスタ選手、ポドルスキ選手といったレジェンドと、古橋選手、藤本選手ら若手選手、山口蛍選手、田中達也選手などの中核選手が見事に融合し、クラブ創設25年目の初戴冠となりました。

今季のヴィッセルは、ピジャ選手、那須選手の引退。ポドルスキ選手、ウェリントン選手らの退団はありましたが、中坂選手、初瀬選手らが期限付き移籍から復帰すると共に、清水からドウグラス選手、山口から菊池流帆選手が加入。さらに山川哲史選手(筑波大学)、小田裕太郎選手(神戸U-18)といったヴィッセル神戸アカデミー出身選手が入団しフィク監督が昨年築いたチームをベースに体制が整っています。

2020年シーズンを占うこの一戦。マルコス ジュニオール選手、仲川選手という昨季Jリーグ得点王を擁する横浜攻撃陣に臨することなく、天皇杯優勝チームの誇りを胸にアジアNo.1を獲得するための第一歩として勝利し最高のスタートを切りましょう!。新国立に響き渡った歓喜の歌声を今日埼玉の地に再び轟かせましょう。We are KOBE!

The 2020 season begins before the joy of the New Year's Day is cooled down. The first official game of 2020 is FUJI XREOX SUPER CUP.

This match is held between the J1 league champion team and the Emperor's Cup champion team. Of course, only those who have won the title can compete in this match. This is a special match between Champion vs Champion.

Yokohama F. Marinos won the J1 league in the 2019 season. The final round at Nissan Stadium, which was a direct confrontation with 2nd place FC Tokyo, attracted 63,854 supporters, the highest number of spectators in the J-League.

The winner of the Emperor's Cup is our VISSSEL KOBE. In the final against the strong Kashima Antlers at the new National Stadium, legends such as Iniesta and Podolski, as well as core players such as Furuhashi, Fujimoto and other young players, Yamaguchi Hotaru, and Tanaka Tatsuya, beautifully combined. It was the first crown of the company for 25 years.

Vissel of this season, Villa and Nasu retired, and Podolski and Wellington left from Vissel, while Nakasaka and Hatsuse returned from the time-limited transfer and Douglas joined from Shimizu and Ryuho Kikuchi from Yamaguchi. In addition, players from VISSSEL KOBE Academy such as Tetsushi Yamakawa (University of Tsukuba) and Yutaro Oda (Kobe U-18) have joined, and the system is set up based on the team that Fink built last year.

This is the first game of the 2020 season. Without fearing the Yokohama team with Marcos Junior and Nakagawa, start the excellent 1st game with the pride of the Emperor's Cup championship team as the first step to win Asia's No.1. Let sing VISSSEL's song again in Saitama stadium. We are KOBE!

神戸讃歌

俺達のこの街に お前が生まれたあの日
どんなことがあっても 忘れはしない

共に傷つき 共に立ち上がり 美しき港町 俺達は守りたい
これからずっと 歩んでゆこう 命ある限り 神戸を愛したい
オオオオオ オオオオオオオ...



KOBE AWAY MARCH

どこまでも行こうぜ 勝利を信じて
熱き友の想い 胸に宿して
行こう 勝利へ
トモニ戦え ラーララ ララララ!
歌声響かせる(KOBE!) 遠く神戸まで(KOBE!)
さあみんなで帰ろう 神戸に帰ろう
勝利この手に!

2020年度日程

節		日時	会場	勝敗・得点	節	対戦相手	日時	会場	勝敗・得点
FUJI XREOX SUPER CUP 2020	横浜Fマリノス	2月 8日(土) 13:35	H 埼玉	○ -	9	ガンバ大阪	4月 17日(金) 19:00	H ノエスタ	○ -
ACL MD1	ジョホール	2月 12日(水)	H	○ -	ACL MD5	ジョホール	4月 21日(火)	A	○ -
ACL MD2	水原三星	2月 19日(水)	A	○ -	10	名古屋グランパス	4月 26日(日) 14:00	A 豊田スタ	○ -
1	横浜FC	2月 23日(日) 16:00	H ノエスタ	○ -	12	FC東京	5月 1日(火) 19:00	A 味スタ	○ -
2	鹿島アントラーズ	2月 28日(金) 19:00	A BMWス	○ -	ACL MD6	水原三星	5月 5日(土)	H	○ -
ACL MD3	広州恒大	3月 3日(金)	H	○ -	13	浦和レッズ	5月 10日(日) 15:00	H ノエスタ	○ -
3	ベガルタ仙台	3月 7日(土) 14:00	A ユアスタ	○ -	11	横浜Fマリノス	5月 13日(水) 19:00	H ノエスタ	○ -
4	湘南ベルマーレ	3月 14日(土) 15:00	H ノエスタ	○ -	14	大分トリニータ	5月 17日(日) 14:00	A 昭和電ド	○ -
5	柏レイソル	3月 18日(水) 19:00	H ノエスタ	○ -	15	セレッソ大阪	5月 23日(土) 15:00	H ノエスタ	○ -
6	コンサドーレ札幌	3月 22日(日) 13:00	A 札幌ド	○ -	16	サガン鳥栖	5月 31日(日) 14:00	A 駅前スタ	○ -
7	サンフレッチェ広島	4月 3日(金) 19:00	H ノエスタ	○ -	17	清水エスパルス	6月 13日(土) 18:00	H ノエスタ	○ -
ACL MD4	広州恒大	4月 8日(水)	A	○ -	18	名古屋グランパス	6月 21日(日) 18:00	H ノエスタ	○ -
8	川崎フロンターレ	4月 12日(日) 15:00	A 等々力	○ -	19	横浜FC	6月 27日(土) 18:00	A ニッパツ	○ -

※刷工程にかかる日数の関係で勝敗・得点の記載をしていない 日程があります。あなたの手で日程表を完成させてください!



DANKE POLDI!!

僕はドイツサッカーが嫌いでした。サッカーの本質を表現した有名な格言があります。「フットボールというのは単純なスポーツだ。22人の男たちが90分間ボールを奪い合う。そして、最後にはドイツが勝つ」(ゲーリー・リネカー)

世界のサッカーはブラジル、アルゼンチンにスーパースターがいても、フランス、スペイン、オランダが華麗な組織サッカーをしても、地味で堅実なサッカーをするドイツが結局、根性で勝つというスポーツでした。そして、その根性は「ゲルマン魂」と呼ばれていました。ジーコ、マラドーナ、プラティら華麗な10番はいつもドイツに負けていました。(マラドーナだけは勝ったけど)

だから僕はドイツサッカーが嫌いでした。正直に言うとドイツ代表の10番には全く興味がありませんでした。ヴィッセルに来るといっても大きな期待はしていませんでした。

しかし、ポドルスキーは違いました。質実剛健、真面目というドイツ人気質がありながら、明るく楽しく周りを盛り上げる愉快な男でした。若手に直接声をかける気さくさと味方のためなら先頭に立って相手に殴り込むという男気。素晴らしいキャプテンでした。

そして、そのキャプテンが最後にヴィッセルに残したのはまさしく「ゲルマン魂」でした。

リーグ最終節、ピジャの引退試合を華やかに飾り、天皇杯準決勝前にチームにゆるみが出たと見るや引き締める言動がありました。まさにこれが勝者のメンタリティ「ゲルマン魂」そのものでした。

トルコに新天地を移すことになってしまったのは本当に残念ですが、また日本に、神戸に、戻って来てくれるのを待っています。

DANKE POLDI!!

ゼロックスあれこれ

チーム創設から25年、ようやくタイトルを掴み取ったヴィッセル神戸。

2020年1月1日、我々にもたらした歓喜は新たな歴史への挑戦の幕開けとなりました。前年のリーグ優勝チームと、天皇杯優勝チームによって争われるシーズン開幕を告げる風物詩、ゼロックススーパーカップに初めて挑むことになりました。

今まではなんとなくTVで観ていて、過去のことはほとんど知らないという方が大半だと思いますので、少し過去のデータを調べてきました。

するととんでもないデータが...

なんとなんと過去5年間、ゼロックススーパーカップの勝者はその年のリーグ戦で優勝できていません。なんということだ...。成績はご覧の通りです。

2015年	ガンバ大阪	リーグ戦3位
2016年	サンフレッチェ広島	リーグ戦6位
2017年	鹿島アントラーズ	リーグ戦2位
2018年	セレッソ大阪	リーグ戦7位
2019年	川崎フロンターレ	リーグ戦4位

各チーム上位に付けているとはいえちょっと気になりますね。まあヴィッセルの過去最高は7位なので、むしろ良いのかな。ちなみに敗者はというと、2018年に川崎が優勝しています。しかし、昨年は浦和が太不振に陥りまさかの14位。こちらは結構差が激しいです。ただ出場チームの大半は、リーグ戦でも好成績を収めているので、やはり期待してしまいますよね。

そしてもう一つあまり良くないデータがありました。それは過去10年間のゼロックススーパーカップでリーグ優勝チームがなんと9勝しています。天皇杯優勝チームの勝利は2018年のセレッソのみとかなり苦戦しています。(リーグ、天皇杯を同一チームが優勝した場合はリーグ2位や天皇杯準優勝チームが繰り上げ出場しています)通算成績はリーグ優勝チームの16勝10敗です。やはり天皇杯決勝からの日程が厳しいのですかね!?

ということでもっと良いデータをお届けしようと思っていましたが、意外な結果になってしまい残念です。しかし、我がヴィッセル神戸は過去にも逆境を跳ね除けて成長してきました。今年からは胸に☆も付いています。

今までとは一味違うヴィッセルを、今日ここにいる多くの観客や、なんとなくTVを見ている全国の皆さんに見せつけましょう!

Facebook

<http://www.facebook.com/kobeap>

Blog <http://kobeap.net/>

Twitter @kobeap



KOBE AWAY PRSS(仮)編集部では、試合展望やコラムを書いて頂ける方を大募集中です。少しでもご興味持っていただけたら、配布している編集部員に直接お声がけいただくか、Facebook/Twitterにてご連絡ください。よろしくお願いします。

1 GK 前川 黛也	18 GK 飯倉 大樹	28 GK 吉丸 絢梓	30 GK 伊藤 元太	3 DF 渡部 博文
2 DF 那須 大亮	4 DF トマス フェルナンデス	5 DF 菊池 流帆	19 DF 初瀬 亮	22 DF 西 大伍
23 DF 山川 哲史	24 DF 酒井 高德	25 DF 大崎 玲央	33 DF ダンクレー	44 DF 藤谷 壮
5 MF 山口 蛍	6 MF セルジサンベール	8 MF アドリイニエスタ	14 MF 安井 拓也	27 MF 郷家 友太
31 MF 中坂 勇哉	38 MF 佐々木 大樹	9 FW 藤本 憲明	11 FW 古橋 亨梧	13 FW 小川 慶治朗
21 FW 田中 順也	41 FW 小田 裕太郎	49 FW ドウグラス	▽ トップチーム	

▽ KOBE AWAY PRESS (仮) からのご協力をお願い

KOBE AWAY PRESS(仮)を他のお友達にすすめたいという方や自分のお店において配ってもいいよという方は大歓迎です。一人でも多くのサポーターを誘ってアウェイゴール裏に駆けつけましょう!

KOBE AWAY PRESS(仮)のPDF版ダウンロード、および

KOBE AWAY PRESS(仮)に関するお問い合わせは、以下のURLにアクセスしてください。



KOBE AWAY PRESS (仮) PDF版ダウンロード

<http://kobeap.net/>

発行: KOBE AWAY PRESS編集部

Facebook <http://www.facebook.com/kobeap>

Twitter @kobeap (<https://twitter.com/kobeap>)



編集後記

天皇杯優勝からはや1ヶ月、まだまだ興奮が冷めない今日このごろですが、4日後にはもうACL初戦のジョホール戦、その翌週には初の海外アウェイとなる水原戦が控えています。本誌は関東近郊を中心に活動していますが、いつの日にかアジアのスタジアムで配布して海外在住サポーターの開拓をしていきたい、そんな妄想をしながら今回は執筆しました。



このKOBE AWAY PRESS(仮)を受け取ったら、その場で捨てないでお家まで持ち帰ってね!

Keep clean